

渋川市の偉人について

1 ふるさと渋川の偉人紹介について

(1) 目的

渋川市にゆかりのある先人の功績に改めて光をあて讃えるとともに、多くの市民がその功績をより深く知ることにより郷土に対して愛着と誇りを持ち、これからの地域づくりにつなげていっていただけるよう、紹介展示を行う。

(2) 場所

市役所本庁舎 1階 市民ホール

(3) 内容

概説、関係文献・遺品等の紹介

(4) 予定

人物名	功績等	時期	摘要
佐藤次郎	テニス選手 世界ランキング3位	31年1月	子持
角田柳作	米国における日本学の父	31年3月	赤城

(5) その他

今後、紹介が想定される人物(例)

人物名	功績等	摘要
吉田芝溪 ほか	渋川郷学	渋川
永井長治郎	上三原田歌舞伎舞台製作者 名工	赤城
浅野総一郎	実業家 関東三社創業の祖(浅野記念図書館)	北橘
針塚長太郎	蚕糸業発展に貢献した教育者	渋川
平方金七	教育者 平方学園理事長	小野上
穂刈恒一	菓子製造会社経営者	小野上
今井善一郎	民俗学者	北橘
都丸十九一	民俗学者	北橘
木暮武太夫	政治家	伊香保

2 冊子『(仮題) 渋川の偉人たち』について

(1) 刊行の目的

渋川市は平成18年2月20日に6市町村が合併して誕生した。合併以前の各地区にはそれぞれ誇るべき先人があり、地域の礎を築いてきたが、こうした人物について語り継がれる機会は少なく、ともすれば忘れられてしまう状況にある。旧市町村誌等でこうした先人に触れてはいるが、あらためて地域の偉人についてまとめた冊子を作成し、市民が地域を知り、愛着と誇りを持つことの一助となることを目的とする。

(2) 期待される効果

多くの市民が地域の偉人を誇りに思い、先人に対する尊敬の念を持つことで、ふるさと渋川を愛する気持ちをさらに高めることが出来る。また、この冊子をきっかけとして、先人の偉業をさらに調べるなど、市民の生涯学習活動の推進にも繋げることが期待できる。

(3) 冊子の体裁等

冊子は1冊完結型とし、まずは30人から40人程度を選定の上、様々な分野の偉人を紹介する。サイズはA4判でオールカラーを想定している。

(4) その他

ア 人物の選定

人物の選定については、事務局で旧市町村誌等からピックアップした各分野の人物を文化財の専門家である文化財調査委員に示し、そこで絞り込んでいただく。それを基に、人物を紹介する文章や写真等を整理し、さらに適宜、文化財調査委員の意見を伺いながら編集を進めることとする。

イ 想定される分野

①教育 ②文化 ③スポーツ ④政治 ⑤経済 等